

### 住民の利便性と地域の特性に見合った支所のあり方について



栗津 まり 議員

**問** 市長は財政諮問会議や施政方針で「支所の統廃合、公共施設の統合・解体」を示唆し、すでに4月から支所職員を3割に減らした。従来のサービスを維持することが合併時の約束だ。周辺住民にとって不可欠な支所の要不要を効率のみで判断するべきでないと考えるがどうか。

**答** 市長 ⑥小中学校全学年での少人数学級  
⑦幼稚園給食は民間委託でなく安心安全の食育を求める。

支所機能の維持確保は重要なものとしており、更なる職員の能力開発や部署間の連携強化等により、実効・発揮に努める考えです。

①若者雇用の促進策  
②高島病院産科医確保  
③出産祝金の存続  
④乳幼児医療費助成制度の拡大  
⑤子供達が安心して過ごせるための学童保育所設置基準の確立

#### 産業経済部長

①企業誘致条例や地域産業創造事業補助金を雇用促進に繋げたいと考えています。また、県の経済振興特区での創業や国の地域雇用創造支援事業も活用して雇用創出を図っていききたいと考えています。

**答** 健康福祉部長  
②高島病院産科存続のため、医師確保に全力で取り組んでいきます。

③出産祝金は、事業効果が薄く廃止します。

④乳幼児福祉医療費は県の制度に統一いたします。

⑤学童保育所の統一的な運営を図るため、放課後児童健全育成事業実施要綱の見直しも検討いたします。

#### 教育委員会次長

⑥子ども達に確かな学力をつけるため、少人数学級編成や少人数指導の充実など指導方法の工夫改善に取り組んでいます。⑦委託業者に地元食材を活用するよう指導しており、食育環境は改善されると考えています。



### 防犯灯の補修・点検について



小川 庄三 議員

**問** 防犯対策の一環として暗い道を明るくすることが危険防止になり、安全で安心して暮らせるために防犯灯を整備、設置されているが、老朽化が著しく夜間は暗く危険な箇所があるため、点検や補修整備の必要性を考える。危険な場所としてマキノ駅前通りの防犯灯は樹木が大きく生い茂り、木の中に埋もれ光をさえぎり、木の枝の剪定が必要、また、今津力ントリー前の酒波地区内に入るまでの区間、新旭町の熊野本・藁園線や浄土寺公園周辺、そして今津町やマキノ町の湖岸通りなど大変暗い道路である。安全確保のための対応を早急に図るべきだと考えています。

**答** 総務部長  
定期的な点検を行い、整備に努めます。防犯灯は、歩行者の安全確保、犯罪の防止



マキノ駅前通りの防犯灯

など市民生活に大変重要な施設です。定期的な点検を行い、不点灯箇所や老朽施設を把握し、補修や機能回復に努めます。

また、ご指摘のマキノ駅前については、街路樹の管理とあわせて調整し、改善に努めます。その他の地区については、充分調査し必要性、優先度等を判断し対処してまいります。

### 市内公共施設の運営を問う



宮川 佳衛 議員

**問** 市職員の掌握と公共施設の運営と経営によって市の財政が良くないと判断する市民福祉の向上を目的に合併と共に今日418の施設運営に多大な財政負担が生じている。この度56施設が指定管理者によって管理運営される意向である。市の財務のアンバランス、償還金の多額、少子化対策に伴う幼児教育の負担増等、よく市の財政歳入歳出を検討し長期事業、財政計画を実施しなければ明日の高島市の発展は望めない。わが高島



ソフトボールを楽しむ体育施設

市でがんばり、生涯学習で喜びを感じている市民が施設を使用すれば利用料を請求され、払わなければならないような市政は駄目である。今こそ市長は市政の責任を感じ努力と指導力を発揮すべきである。

#### 総務部長

**答** 指定管理制度や利用料は充分検討します

高島市の公共施設は合併前にそれぞれの町村で設置していた類似施設が多くあり、それらの運営管理に多額の経費が必要となつていきます。さらにその施設建設時に、財源として地方債の借入れが多く、その残高も大きなものとなっております。このため、高島市財政再建計画にある歳入に見合った歳出計画に基づき、安定した財政運営が行えるよう努めてまいります。

また、市民には生涯学習等で施設を有効に活用いただいており、施設の長期的な維持を図るため、今後は各施設の指定管理者制度の導入も含め、利用料についても十分検討する必要があります。

### 海東市政一年を振り返って



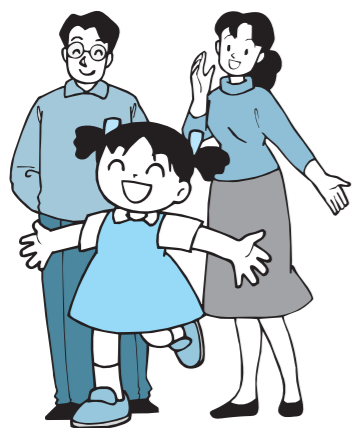
駒井 芳彦 議員

**問** 合併特例期限が決まっていた事で「サービスは高く・負担は低く」と、住民の合意を得て、又、それぞれの地域の主張や要望を一定取り入れ、協議が十分ではない中で合併合意に至ったのではないのでしょうか。

**答** 市長  
サービス・市民負担の合併合意を守れなかったことをお詫びします

この1年、旧6町村のこれまでの歩みを尊重して、まちづくりを継承してきましたが、三位一体改革をはじめとする大きな時代の変革により合併合意時点と財政環境等が大きく変わりました。

市長は市民の幸せを日々考えていても、市長の目指す「環の郷高島」が市民に理解されていないのではないかと懸念が。住民生活とかけ離れた市政になっていないかについて問う。市民は、合併して良かったと思えるような施策を海東市政に求めているのではないかと。



民負担」を1年間しか守れなかったことにつきましましては、合併を主導した一員として責任を痛感し市民の皆様にお詫び申し上げます。この大きな時代の変革に際し施政の方向や手法を対応・適正させてゆく必要があり、組織を上げて取り組みを急いでいます。市民の皆さんへの説明が十分な点は反省し、懇切丁寧なわかりやすい説明を心がけ、合併して良かったと思っていただけよう努めます。